

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会議名	令和6年度 滋賀県がん診療連携協議会 第2回相談支援部会																																																	
開催日時	令和7年2月12日（水）17時00分																																																	
開催方法	Zoomによるweb開催																																																	
出席者	<p>【部会員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">滋賀県立総合病院</td><td style="width: 50%;">山内 智香子</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>塘 賢二郎</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>田久保 康隆</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>田中 哲志</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>琴 順華</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>岡村 理</td></tr> <tr><td>公立甲賀病院</td><td>西村 直也</td></tr> <tr><td>彦根市立病院</td><td>藤井 滋生</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>橋本 祥子</td></tr> <tr><td>高島市民病院</td><td>大塚 初美</td></tr> <tr><td>市立大津市民病院</td><td>大津 陽子</td></tr> <tr><td>淡海医療センター</td><td>谷 由紀子</td></tr> <tr><td>済生会滋賀県病院</td><td>山田 寿美</td></tr> <tr><td>近江八幡市立総合医療センター</td><td>木本 美由紀</td></tr> <tr><td>長浜赤十字病院</td><td>伊藤 聡子</td></tr> <tr><td>東近江総合医療センター</td><td>宮城 暢子</td></tr> <tr><td>一般社団法人 滋賀県薬剤師会</td><td>田中 聡美</td></tr> <tr><td>公益社団法人 滋賀県看護協会</td><td>吉岡 千晴</td></tr> <tr><td>一般社団法人 滋賀県歯科衛生士会</td><td>吉田 なおみ</td></tr> <tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>菊井 津多子</td></tr> <tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>野崎 安美</td></tr> <tr><td>滋賀県健康医療福祉部</td><td>時田 幸世</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>田井 佑樹</td></tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">滋賀県立総合病院</td><td style="width: 50%;">渡部 賢太</td></tr> </table>		滋賀県立総合病院	山内 智香子	大津赤十字病院	塘 賢二郎	市立長浜病院	田久保 康隆	滋賀医科大学医学部附属病院	田中 哲志	大津赤十字病院	琴 順華	滋賀県立総合病院	岡村 理	公立甲賀病院	西村 直也	彦根市立病院	藤井 滋生	市立長浜病院	橋本 祥子	高島市民病院	大塚 初美	市立大津市民病院	大津 陽子	淡海医療センター	谷 由紀子	済生会滋賀県病院	山田 寿美	近江八幡市立総合医療センター	木本 美由紀	長浜赤十字病院	伊藤 聡子	東近江総合医療センター	宮城 暢子	一般社団法人 滋賀県薬剤師会	田中 聡美	公益社団法人 滋賀県看護協会	吉岡 千晴	一般社団法人 滋賀県歯科衛生士会	吉田 なおみ	滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	野崎 安美	滋賀県健康医療福祉部	時田 幸世	滋賀県立総合病院	田井 佑樹	滋賀県立総合病院	渡部 賢太
滋賀県立総合病院	山内 智香子																																																	
大津赤十字病院	塘 賢二郎																																																	
市立長浜病院	田久保 康隆																																																	
滋賀医科大学医学部附属病院	田中 哲志																																																	
大津赤十字病院	琴 順華																																																	
滋賀県立総合病院	岡村 理																																																	
公立甲賀病院	西村 直也																																																	
彦根市立病院	藤井 滋生																																																	
市立長浜病院	橋本 祥子																																																	
高島市民病院	大塚 初美																																																	
市立大津市民病院	大津 陽子																																																	
淡海医療センター	谷 由紀子																																																	
済生会滋賀県病院	山田 寿美																																																	
近江八幡市立総合医療センター	木本 美由紀																																																	
長浜赤十字病院	伊藤 聡子																																																	
東近江総合医療センター	宮城 暢子																																																	
一般社団法人 滋賀県薬剤師会	田中 聡美																																																	
公益社団法人 滋賀県看護協会	吉岡 千晴																																																	
一般社団法人 滋賀県歯科衛生士会	吉田 なおみ																																																	
滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子																																																	
滋賀県がん患者団体連絡協議会	野崎 安美																																																	
滋賀県健康医療福祉部	時田 幸世																																																	
滋賀県立総合病院	田井 佑樹																																																	
滋賀県立総合病院	渡部 賢太																																																	
欠席者	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">一般社団法人 滋賀県医師会</td><td style="width: 50%;">重永 博</td></tr> <tr><td>一般社団法人 滋賀県歯科医師会</td><td>黒岩 敏彦</td></tr> </table>		一般社団法人 滋賀県医師会	重永 博	一般社団法人 滋賀県歯科医師会	黒岩 敏彦																																												
一般社団法人 滋賀県医師会	重永 博																																																	
一般社団法人 滋賀県歯科医師会	黒岩 敏彦																																																	
議事概要	<p>【審議事項】</p> <p>1. 令和6年度相談支援部会の取組み最終評価及び令和7年度の取組みについて</p> <p>令和6年度取組み最終評価について、アクションプランのとおり適切に実施できているためA評価とした。全てのがん患者サロンが毎月開催できていることや滋賀の療養情報を広めるための方法について共有し、少しずつ改善できていることを評価している。</p> <p>令和7年度の取組みについて、PDCAチェックリストは今年度から継続しPlan（計画）を「がん相談窓口取組み実施状況の充実」、Do（実行）を「各体制の確保、各支援の実施」に設定する。アクションプランシートは「がん相談後のアンケート」や「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト共通項目」を活用し、施設の評価を引き続き行っていく。</p> <p>2. 「滋賀の療養情報【第12版】」について</p> <p>10月からWGメンバーで更新作業に取り掛かり、12月に1回、1月に1回部会員宛校正依頼をかけた。今後、業者へ発注を行い3月中に事前に回答いただいた送付先に納品となる。</p>																																																	

【報告事項・情報共有事項】

3. 「滋賀の療養情報」の配布方法実践状況確認

今回、5つの医療機関が改善に取り組んでいただき、合計で7項目改善している。一方、前回報告時と比べ取り組みがなくなった項目もあるため、全体としては2%下がり52%となっている。項目毎の実践割合を見ると、「医師など医療者への周知」が62%、「がんと診断された患者さんへの配布」が52%、「院内での設置」が85%、「情報として発信」が25%となっている。「市民公開講座等をオンライン（web）開催する場合、最終画面に紹介ページを付加する。」「公共施設等で広く周知するため『滋賀の療養情報』を紹介するチラシを作成する。」があまり実践できていない。

各施設の取り組み状況を参考に、引き続き取り組みをお願いしたい。

以下、取り組みを行った施設からの報告

（報告）基本的には外来診察時に看護師が渡し、入院支援で滋賀の療養情報を持っているか確認している。持っていない方にはお渡しし、持っている方には疑問点等を確認している。相談希望があれば入院支援からがん相談につなぐようにしている。（問：がん以外の患者との区別はどうしているか）入院支援で今日関わる患者の一覧を作っており、その一覧の中でがん患者を抽出しがん患者のみ案内する。

（報告）化学療法中に化学療法室の看護師が冊子の紹介をしている。併せてがん相談窓口の案内ちらしを渡し、相談につなげている。

4. 令和6年度がん相談支援センター等がん相談窓口の体制、PDCA実施状況チェックリスト

令和7年1月のがん相談窓口の体制については、令和6年4月時点の人数から3名増え67名だった。

PDCA実施状況チェックリストについて、「病院全体として、患者や家族等の不安に適切に対応できる体制を整備する」評価項目の内、患者・家族・市民・院内スタッフ・地域の関係機関への周知の実施割合が高い。一方、ピアサポーター活動支援は実施割合が低い。「がん相談支援センターとして、質の高い相談支援を提供できる体制を整備する」評価項目の内、がん相談支援センター相談員へのバックアップ体制の実施割合が高い。一方、定期的な相談対応モニタリングを通じた課題共有と解決策の検討の実施割合が低い。

他の医療機関の取り組みを参考に少しでも改善いただきたい。

5. 令和6年度がん相談後アンケート結果

対象13施設中11施設から132件の回答があり、昨年度の187件から3割程度減少した。相談の結果については、ほとんどがポジティブな内容だった。一方、「患者の声をまとめたものを無料で公開してほしい。」「相談支援センターについての広報を積極的にお願います。」「相談者の希望があれば何か映像やBGMがあったほうが緊張しなくていい。」「事務の方からこちらを案内してもらえてたらもっと早く相談できたのに・・・。」など今後の課題となる意見もいくつかあった。

アンケートについてはアクションプランの指標のひとつでもあり、相談者の生の声を反映するものであるため今後も継続していく。

6. 令和6年度滋賀県がん診療連携協議会 相談支援部会 がん相談支援センター相談員研修会（令和7年3月開催予定）について

大津赤十字病院琴部会員から説明。

3月7日に「人生最終段階の迎え方」をテーマに滋賀県立総合病院で開催予定。自宅や施設看取りの実際について、おうみ在宅クリニックの鎌田先生を講師にお迎えし知識を深めていきたい。現在、10病院13名の申し込みがある。

7. がん患者サロンとピアサポーターの現状と問題点

滋賀県がん患者団体連絡協議会菊井部会員から説明。

がん患者サロン参加者一覧を見るとがん患者サロンに患者とその家族があまり足を運んでいないことが分かる。各病院で工夫はしてくれているが全体的に参加者が少なく、増やすためにどうしたらいいか考えていただくために現状を報告した。ピアサポーターのモチベーション低下にもつながっている。

また、ピアサポーターは9名の応募があった。第一希望のサロンに行っていたいたため、少ないところに補充できるかは微妙なところ。

(意見) 高島市民病院ではリピーターが1人で固定されているが、がん相談支援センターは一生懸命誘ってくれている。市立長浜病院では相談支援センターの方が病室まで迎えに行っており入院中の患者が来ている。

(意見) 公立甲賀病院でも入院患者に来てもらうことが少しあった。参加の方は入れ替わるが、人数はやや少なくなっている。

8. 第23回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会 (2024年11月21日開催) の報告について

滋賀県立総合病院岡村部会員から説明。

今後の在り方について協議し、情報提供相談支援部会運営委員会を発足することになった。運営委員会で協議したことを相談支援部会に諮り、決定したことを親会議に報告する流れとなった。

全国でのピアサポーターの養成と活動の場に関する事例の共有があった。具体的には山形県におけるピアサポーター養成について取り組みの報告があった。

部会とは別になるが、希少がんに関して近畿ブロックでは情報共有できる場がなかったが、大阪国際がんセンターを中心に各府県の相談員と今後の方向性について話す機会があった。次年度以降、近畿ブロックの希少がんの情報を集約できる機会ができればと考えている。今後、具体的な動きがあれば紹介する。

9. 滋賀県健康医療福祉部 令和7年度予算(案)について

滋賀県健康医療福祉部時田部会員から報告。

来年度変更となる事業計画について説明する。「がん患者団体等自主事業費補助金他」について、これまでがん対策や患者支援をされている団体へ補助金を交付してきたが、昨年度末に国からは本来はもらえなかったことが判明し、国に返還することになった。次年度については、額は小さくなるが、がん患者支援を主目的とされている団体に、2年間を限度としての補助金を新たに計画している。取組の立ち上げ支援となり、2年間で行政や医療機関等とも連携し自走できることを目標に、こちらとしても支援していきたいと考えている。

また、補助金として実施してきた事業の中に本来県として取り組むべき内容もあり、「がん教育スピーカーバンク事業」等委託事業として実施予定。また、次年度は3年に1回患者団体さんが担ってくださっている「がん患者調査事業」も予定している。「がん患者への一元化情報提供事業」は滋賀の療養情報の印刷費用だが、紙媒体を作成する経費は確保が難しくなっている。SNS、ホームページ等の媒体を活用した情報発信も考えていけないといけない。

10. 「第16回滋賀県がん医療フォーラム～あなたらしい“がん”との向き合い方～」開催について

滋賀県立総合病院田井部会員から報告。

2月22日土曜日栗東芸術文化会館SAKIRAで滋賀県がん医療フォーラムを開催する。フジテレビ元アナウンサーの笠井信輔氏と有明病院高野氏に講演いただく。定員は380名、現時点では240名超申し込みがある。定員に空きがあるので、周りの方にお声がけいただきたい。

11. その他報告事項

滋賀県がん患者団体連絡協議会野崎部会員から報告。

	がん患者サロンに参加される方に滋賀の療養情報を紹介したい。サロンでは必ずがん相談支援センターの案内をしており、病院につなぐことを意識し任務と考えている。そういった活動をしている者もいるということをお知らせしたい。
その他	特になし

以上のおり報告します。

令和 7年 2月 12日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

相談支援部会 部会長 山内 智香子